美唄市スマート農業技術のロードマップ

スマート農業技術ごとに、検証の成果や課題を整理し、普及に向けた今後の見通しを示す。

◎検証　◎実用化　◎普及

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
（１）技術の検証 ①新たな防除作業の取組を検証 ②スマート農業の効果を検証 ③他の営農技術を検証	・協議会の意向調査 ・先行事例調査　など ◎ドローンと無人ヘリの比較（次世代につなぐ営農体系の確立支援事業）、水管理システムの検証 ◎シェアリング（次世代つなぐ営農体系の確立支援事業予定） ◎今後見込まれる検証事業の例 ・農業データの活用（基盤整備、センシングデータ） ・情報通信環境の整備による検証（ロボット農機、水位やため息の監視　など）			
（２）各地域へ普及の実証 ①スマート農業に対する理解促進 ②レンタル制度の導入 ③他地域での実証事業の実施	・スマート農業、農業支援サービスに関する情報の共有 ・マッチング機会の創出 ◎講習会、展示会・実演会など ◎上美唄地区	◎シェアリングの検証 ◎西美唄地区（普及センター重点地域）など	◎シェアリングの実用化	◎シェアリングの普及
（３）多様な技術の導入加速化 ①スマート農機等の生産現場への導入拡大 ②女性、高齢者等によるドローンのレンタル事業の促進	・国費の制度や市独自事業による導入支援 ・多様なオペレーター人材の確保 ◎美唄市スマート農業機械導入補助金、強い農業担い手づくり総合支援交付金など ◎作業軽度	◎ドローン防除作業の実施（シェアリング）	◎ドローン防除作業に伴うシェアリングの実用化	
（４）新たなビジネス創出 ①農業関連サービスの創出・育成 ②企業との連携による農業支援 ③雇用機会の創出	・スマート農業技術の人材育成 ・サービス事業体との人材マッチングの推進	◎防除作業の実施、ドローンのレンタルなど ◎防除作業の実施、ドローンのレンタルなど ◎非農家の雇用		